

# 郷土に伝わる四季の祭り

美しい自然と豊かな四季の表情を持つ山梨県では、年間を通じて多彩な行事が行われています。

## 1月 January

- 7日 ■ お松引き (丹波山村)
- 11～12日 ■ 下福沢の道祖神祭 (甲斐市)
- 11日 ■ 田野の十二神楽 (甲州市)
- 11日 ■ 一之瀬高橋の春駒 (甲州市)
- 11日 ■ 山田の神楽獅子 (市川三郷町)
- 13日 ■ 身延山御年頭会・曳馬式 (身延町)
- 13～16日 ■ 道祖神祭り (忍野村)
- 14日 ■ 塩平の獅子舞 (山梨市)
- 14日 ■ 藤木道祖神祭太鼓乗り (甲州市)
- 14日 ■ 万沢浅間神社湯立祭り (南部町)
- 25日 ■ 徳和天神祭 (山梨市)
- 28日 ■ 金剛寺金山神社祭典 (甲斐市)

## 2月 February

- 1日 ■ 一の酉祭典 (市川三郷町)
- 3日 ■ 大神宮祭 (甲府市)
- 3日 ■ 牛倉神社節分祭 (上野原市)
- 3日 ■ 身延山節分会 (身延町)
- 8日 ■ 二之宮美和神社湯立て祭 (笛吹市)
- 10～11日 ■ 十日市祭典 (南アルプス市)
- 11～4月18日 ■ 甲州市えんざん桃源郷ひな飾りと桃の花まつり (甲州市)
- 13～14日 ■ 厄除地蔵尊祭り (甲府市)
- 13～14日 ■ 愛染厄除け地蔵尊祭 (富士吉田市)
- 14日～3月上旬 ■ ハウス桃宴 (笛吹市)
- 15日 ■ 万力穴観音祭 (山梨市)
- 20～22日 ■ 春の山梨県地場産業まつり (甲府市)
- 21日 ■ 松本のお天狗さん (笛吹市)

## 3月 March

- 8日 ■ 無生野の大念仏 (小正月) (上野原市)
- 18～24日 ■ 昌福寺虫加持 (富士川町)
- 20～21日 ■ 窟観音祭 (韮崎市)
- 下旬～4月上旬 ■ 大月さくら祭り (大月市)
- 下旬～4月下旬 ■ 桃源郷春まつり (笛吹市)
- 下旬～4月上旬 ■ 身延山観桜会 (身延町)
- 下旬～4月上旬 ■ 大法師さくら祭り (富士川町)
- 23日 ■ 隼のおおわらじ (山梨市)

## 4月 April

- 上旬～中旬 ■ 神代桜まつり (北杜市)
- 上旬 ■ 内野浅間神社春季例大祭 (忍野村)
- 3～5日 ■ 信玄公祭り (甲府市)
- 4日 ■ 大石寺火渡り (笛吹市)
- 4～5日 ■ 山梨岡神社の太々神楽 (笛吹市)
- 5日～5月31日 ■ 甲斐善光寺御開帳 (甲府市)
- 5日 ■ 天津司の舞 (甲府市)
- 5日 ■ 光照寺薬師堂祭典 (甲斐市)
- 5日 ■ 笛吹市桃の里マラソン大会 (笛吹市)
- 5日 ■ 御幸祭 (市川三郷町)
- 8日 ■ 永泰寺花祭り (甲府市)
- 中旬～5月上旬 ■ ふじざくら祭り (富士吉田市)
- 中旬～5月上旬 ■ 長沢鯉のぼり祭り (北杜市)
- 中旬 ■ よってけしほほえみの里山菜まつり (身延町)
- 11日 ■ 蚕種石神社祭り (上野原市)
- 12日 ■ 武田神社例大祭 (甲府市)
- 12日 ■ 武田24将騎馬行列 (甲府市)
- 12日 ■ 穴山さくら祭り (韮崎市)
- 12日 ■ 南アルプス桃源郷マラソン大会 (南アルプス市)
- 12日 ■ 恵林寺信玄公忌 (甲州市)
- 15日 ■ おみゆきさん (甲斐市)
- 15日 ■ 大神幸祭「おみゆきさん」 (笛吹市)
- 15日 ■ 大菩薩山開き「介山祭」 (甲州市)
- 18日 ■ 大嶽山 那賀都神社春の例大祭 (山梨市)
- 18～19日 ■ 武田の里ウォーク (山梨市)
- 18日 ■ 向嶽寺秋葉神社祭典 (甲州市)
- 19日 ■ 出世大神宮祭 (大月市)
- 19日 ■ 新府桃の花見会 (韮崎市)
- 19日 ■ 深田祭 (韮崎市)

- 19日 ■ 春の武田の里まつり「お新府さん」 (韮崎市)
- 19日 ■ 軍刀利神社祭典 (上野原市)
- 19日 ■ 宮原浅間神社春季例大祭 (市川三郷町)
- 下旬 ■ ぼたんの花まつり (市川三郷町)
- 下旬 ■ たけのこまつり (南部町)
- 25日～5月6日 ■ 鳴沢つつじ祭り (鳴沢村)
- 25日 ■ 河口浅間神社例祭 (富士河口湖町)
- 26日 ■ 川中島合戦戦国絵巻 (笛吹市)
- 26日 ■ 甲州市ふるさと武田勝頼公まつり (甲州市)
- 26日～5月4日 ■ 河口湖富士桜ミツバツツジまつり (富士河口湖町)
- 29日 ■ 西沢溪谷山開き (山梨市)
- 29日 ■ 甲州風あげまつり (南アルプス市)
- 29日 ■ 放光寺大黒天祭 (甲州市)
- 29日 ■ 中央市れんげまつり15 (中央市)
- 29日 ■ 大聖寺不動尊祭典 (身延町)
- 29日 ■ 甲斐の勝山 やぶさめ祭り (富士河口湖町)

## 5月 May

- 2～5日 ■ 正の木稲荷祭り (甲府市)
- 3日 ■ 南アルプス早川山菜まつり (早川町)
- 4日 ■ 水と火と味の祭典多摩源流まつり (小菅村)
- 5日 ■ 北口本宮富士浅間神社お初祈祭 (富士吉田市)
- 5日 ■ 沢奥のおまつり 西嶋神楽 (身延町)
- 8日 ■ 大善寺・柏尾の藤切祭 (甲州市)
- 中旬 ■ 芦安新緑・やまぶき祭 (南アルプス市)
- 中旬 ■ しもべおんせんまつり (身延町)
- 17日 ■ 本栖公家行列 (富士河口湖町)
- 30～31日 ■ すずらの里まつり (笛吹市)

## 6月 June

- 上旬 ■ ホタルまつり (身延町)
- 中旬 ■ 小田川ホタルまつり (韮崎市)
- 中旬 ■ 甘々娘収穫祭 (市川三郷町)
- 中旬～下旬 ■ 南部あじさいまつり (南部町)
- 13～14日 ■ 万葉うたまつりとホタル観賞会 (山梨市)
- 14日 ■ Mt.富士ヒルクライム (富士吉田市)
- 15～17日 ■ 身延山開闢会 (身延町)
- 19日～7月12日 ■ 河口湖ハーブフェスティバル (富士河口湖町)
- 下旬～7月上旬 ■ 小室山妙法寺あじさい祭り (富士川町)
- 27日 ■ 南アルプス開山祭 (南アルプス市)
- 30日 ■ 富士山開山前夜祭 (富士吉田市)
- 30日 ■ 菅田天神社夏越祭 (甲州市)
- 30日 ■ 忍草茅の輪くぐり (忍野村)

## 7月 July

- 上旬 ■ 内野茅の輪くぐり (忍野村)
- 1～7日 ■ セタまつり (甲府市)
- 1日 ■ 富士山開山祭 (富士吉田市)
- 18～19日 ■ 祇園祭 (獅子舞) (丹波山村)
- 20日～8月19日 (水・木・土・日) ■ 笛吹川石和鶏飼 (笛吹市)
- 下旬～8月下旬 ■ 北杜市明野サンフラワーフェス (北杜市)
- 24日 ■ 富士登山競走 (富士吉田市)
- 25日 ■ 笛吹川県下納涼花火大会 (山梨市)
- 25～26日・8月8～9日 ■ なるさわ収穫祭 (鳴沢村)
- 26日 ■ 夏祭り丹波 (丹波山村)
- 28日 ■ 太々御神楽祭 (富士河口湖町)
- 30～31日 ■ 宮宮八幡宮例祭 (韮崎市)

## 8月 August

- 上旬 ■ かがり火市民祭り (大月市)
- 上旬 ■ 北杜ふるさと祭り (北杜市)
- 上旬 ■ ヤマメまつり (身延町)
- 1～2日 ■ ヒルクライムチャレンジシリーズ 2015 韮崎山大会 (韮崎市)
- 1日 ■ ハヶ岳ホースショー in こぶちさわ (北杜市)
- 1日 ■ 山中湖報湖祭 (山中湖村)
- 2日 ■ 西湖竜宮祭 (富士河口湖町)
- 3日 ■ 本栖湖神湖祭 (富士河口湖町)
- 4日 ■ 精進湖涼湖祭&精進湖音楽祭 (富士河口湖町)
- 5日 ■ 河口湖湖上祭 (富士河口湖町)

- 7日 ■ 神明の花火大会 (市川三郷町)
- 8日 ■ 忍野八海祭り (忍野村)
- 8～22日 ■ 富士山河口湖音楽祭 (富士河口湖町)
- 中旬～9月上旬 ■ 円野町かかし祭り (韮崎市)
- 中旬 ■ 秋山ふるさと祭り (上野原市)
- 14日 ■ 中央市与一公まつり15 (中央市)
- 15日 ■ 南部の火祭り (南部町)
- 16日 ■ 夏の武田の里まつり「武田陣没将士供養会・花火大会」 (韮崎市)
- 16日 ■ 甲斐いちのみや大文字焼き (笛吹市)
- 16日 ■ 無生野の大念仏 (盆) (上野原市)
- 16日 ■ 百八灯 (市川三郷町)
- 16日 ■ 下山愛宕祭典花火大会 (身延町)
- 17日 ■ じょいそーらん山梨県大会 (山梨市)
- 17日 ■ 笛吹川源流まつり (山梨市)
- 19日 ■ 諏訪神社祭典 (上野原市)
- 下旬 ■ 長崎のかかし祭り (笛吹市)
- 下旬 ■ 摩利支天社祭典 (市川三郷町)
- 21日 ■ 石和温泉花火大会 (笛吹市)
- 23日 ■ 下黒駒石尊まつり (笛吹市)
- 26～27日 ■ 吉田の火祭り・すずき祭り (富士吉田市)

## 9月 September

- 上旬 ■ 牛倉神社例大祭 (上野原市)
- 1日 ■ 八朔祭 (都留市)
- 4～6日 ■ 山中明神例大祭 安産祭り (山中湖村)
- 18～19日 ■ 七面山大祭 (身延町)
- 19日 ■ 流鏝馬祭り (富士吉田市)
- 19～21日 ■ 忍草諏訪神社例大祭 (忍野村)
- 20～26日 ■ 昌福寺虫加持 (富士川町)
- 下旬 ■ 秋の山梨県地場産業まつり (甲府市)
- 23日 ■ 大式学問祭 (甲斐市)

## 10月 October

- 上旬 ■ 昭和町ふるさとふれあい祭り (昭和町)
- 上旬～下旬 ■ あけぼの大豆産地フェア (身延町)
- 3日 ■ 甲州市かつめまぶどうまつり (甲州市)
- 10～11日 ■ 西原ふるさと祭 (上野原市)
- 10日 ■ 身延山御会式 万燈行列 (身延町)
- 中旬 ■ 甲府大好きまつり (甲府市)
- 中旬 ■ グランフォンドハヶ岳 (北杜市)
- 中旬 ■ ポール・ラッシュ祭～ハヶ岳カンティフェア～ (北杜市)
- 中旬 ■ 西嶋和紙まつり (身延町)
- 11日 ■ 武田の里にらさき・ふるさとまつり (韮崎市)
- 11～12日 ■ 双子塚祭典 (笛吹市)
- 12日 ■ 秋の武田の里まつり「武田八幡宮祭典」 (韮崎市)
- 18日 ■ 甲州フルーツマラソン大会 (甲州市)
- 19日 ■ 軍刀利神社秋祭り (上野原市)
- 25日 ■ つる産業まつり2015・お茶壺道中行列 (都留市)
- 31日～11月1日 ■ 秋の収穫祭 (鳴沢村)
- 31日～11月23日 ■ 富士河口湖紅葉まつり (富士河口湖町)

## 11月 November

- 上旬 ■ 甲府市農林業まつり (甲府市)
- 上旬 ■ ヌーボー de 乾杯! カウントダウン (笛吹市)
- 上旬 ■ 武田陣中ほうとうまつり (甲州市)
- 上旬 ■ はんご日本一六郷の里秋まつり (市川三郷町)
- 上旬 ■ はやかわ紅葉とそばまつり (早川町)
- 上旬 ■ やまゆりセンターまつり (道志村)
- 上旬 ■ R413フェスティバル (道志村)
- 2日 ■ 山車巡行祭り (富士川町)
- 3日 ■ 心あったか祭り (南アルプス市)
- 3日 ■ 浅尾ダイコンまつり (北杜市)
- 3日 ■ かつめま新酒ワインまつり (甲州市)
- 3日 ■ 中央市稲穂まつり15 (中央市)
- 3日 ■ みのぶまつり (身延町)
- 8日 ■ 甲州富士川まつり (富士川町)
- 中旬 ■ 北杜市甲斐駒の里名水まつり (北杜市)
- 15日 ■ ゆずの里まつり (富士川町)
- 15日 ■ 大柳川やすらぎの里もみじ祭り (富士川町)
- 23日 ■ 甲府えびす講祭り (甲府市)
- 23～24日 ■ 立正寺子安地藏尊大祭 (甲州市)

## 12月 December

- 上旬～中旬 ■ 大塚にんじん収穫祭 (市川三郷町)
- 13日 ■ かきまつり・まいもん朝市 (南アルプス市)
- 22日 ■ 晴雲寺の星祭り (笛吹市)

# 国宝 National Treasures

県内に現存する多くの歴史的建造物や美術品の中には、国内でも貴重とされるものが少なくありません。

国宝には5点が指定され、大切な文化遺産として保存されています。



絹本著色夏景山水図 昭和30年6月22日指定

【けんぼんちゃくしよくがけいざんすいず】 (身延町 久遠寺 所有)

本来四季山水図の一つとして描かれたものと考えられるが、春景図は失われている。京都金地院に残る秋景・冬景図二幅とともに北宋の徽宗皇帝の作とも伝えられる。12世紀初めとも、13世紀初めの作ともいわれるが、足利義満の所蔵印が押されていることから、14世紀には既に日本に伝来していたことがわかる。北宋・南宋時代の山水画を代表する名品である。

絹本著色達磨図 昭和28年11月14日指定

【けんぼんちゃくしよくだるまづ】 (甲州市塩山 向嶽寺 所有)

達磨が、朱衣に身を包んで岩上に座禅する本図は、その生き生きとした描写や重厚な筆致から、優品としての評価が高い。着黄している蘭溪道隆は、鎌倉建長寺を開山した中国からの渡来僧で、東光寺や永岳寺を開山するなど、本県にも関係がある。13世紀頃の作である。



小桜韋威鎧兜、大袖付 昭和27年11月22日指定

【こざくらがわおとしよゐいかぶと、おおそでつき】 (甲州市塩山 菅田天神社 所有)

平安時代の風格を今も伝えるこの鎧は、「楯無鎧」の名で知られ、御旗(甲州市塩山 雲峰寺蔵、県指定文化財)とともに武田家の重宝だったとされる。信玄の時代、鬼門鎮護のため菅田天神社に納められたが、武田氏が滅んだ際、敵の手に渡らないよう向嶽寺の大杉の根元に埋めたものを、徳川家康が掘り出し再び同社に納めたと伝えられる。



大善寺本堂 昭和30年6月22日指定

【だいぜんじほんどう】 (甲州市勝沼町 大善寺)



鎌倉時代の密教系本堂の代表的建物の、東日本で最も優れた和様建築ともいわれている。内部の隅柱にある1286(弘安9)年の刻銘から、1270(文永7)年の火災で焼失した後、鎌倉幕府の援助を受けて再建された、山梨県では最古の建物であることが判明している。

清白寺仏殿 昭和30年6月22日指定

【せいはいくじぶつでん】 (山梨市三ヶ所 清白寺)



この仏殿は、小規模な中世禅宗様仏殿の典型例として知られる。清白寺創建時の1333(正慶2)年の建築と伝えられてきたが、1917(大正6)年の解体修理の際に発見された墨書によって、1415(応永22)年であることが確認された。